



■ 山口市立平川中学校の生徒が職場体験学習で来館



平成25年8月27日(火)から29日(木)までの3日間、山口市立平川中学校2年生の生徒が3名、職場体験学習のため、附属図書館を訪れました。

今回で3回目の職場体験学習の受け入れとなりました。公立図書館や学校図書館と違い、大学図書館はそのサービス内容に多少の違いがありますが、資料の受け入れから提供までのプロセスが大きく異なっているわけではありません。

初日は館内見学と業務のガイダンスから始め、カウンター業務、資料の配架を体験してもらいました。その後の2日間で資料の装備、新着雑誌の受け入れ整理、書架整理、複写業務、レ

ファレンスサービスなどに取り組んでももらいました。

感想をみると、毎回そうですが、図書の装備がもっとも印象に残ったようです。また、彼らは「バドミントン部」の部員ですが、図書館の仕事に体力が必要なことにも驚いていました。

3日間の職場体験ですが、色々な業務を経験したことで、大学図書館の全体像が少しは理解出来たのではないかと感じています。

職場体験学習は、職員にとっても、生徒に教えることを通じて日々の業務を振り返る貴重な機会になります。今後もこのような機会を利用したいと考えています。



■ 第2回学生選書ツアーを実施

昨年から実施している学生選書ツアーの第2回を、平成25年11月16日(土)に実施し、博多にある書店、ジュンク堂福岡店を訪問しました。県立大学のバスで朝9時に出発、高速道路の途中2か所のパーキングエリアで休憩・昼食の後、午後1時前に到着しました。



参加者は引率者を含め10名で、各学部学科関連の図書と自分の関心のある分野の図書を選ぶという基準のもとに193冊が選書されました。すでに所蔵しているものを除き、160冊を受け入れることにしました。整理の終わったものを本館ホールと看護棟図書室に展示しています。貸出も出来ますので、ご利用ください。

選書ツアーは来年度以降も実施する予定です。各学部学科等の学生と教職員の参加も歓迎します。附属図書館の蔵書構成をバラエティーに富んだものにする意味合いもありますので、是非選書ツアーに加わってください。



■ 館内ちょこっとリニューアル



附属図書館も1977年に建てられてから36年の時が流れました。館内を少しでも明るく使いやすくてきたらという思いで、第一弾のちょこっとリニューアルを行ないました。コロンとした水色のスツールを5脚とコロ付きイスを4脚、テーブルを2台購入して置いてみました。スツールは書架の横に置いてありますので、ちょっと座ってみてください。



それに加えて、テーマ展示用の書架も購入しました。図書館では年に3回ほどテーマ展示を行なっていますが、利用者みなさんが本を手に取りやすく見やすいように新しい書架を設置しました。この新しい書架で読みたい本に出会ってもらえたらと思います。図書館に来る時に、時々チェックしてみてください。

コーナーや部屋をすぐには提供できませんが、しばらくは附属図書館全体を電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から知識が得られるラーニングコモンズと考えて利用してみたいかがでしょうか。



■ ML連携特別展－山口県内の大学博物館と図書館が共同開催

附属図書館には、寺内家より移管を受けた資料を収めた寺内文庫室があります。これは現在も宮野駅前に建物が残っている「桜圃寺内文庫」に収蔵されていた資料で、山口県出身の宰相、寺内正毅が主として収集したものです。この文庫は旧宮野村の公共図書館としての役割も果たしていました。本学移管に伴い、附属図書館の基礎ともなりました。

当館では平成25年度の山口県大学ML（ミュージアム・ライブラリー）連携特別展に参加し、収蔵資料から3点を展示しました。今年のテーマは「再生」で、県内9大学12館が参加、各館それぞれがテーマに沿った展示を行いました。



桜圃寺内文庫の資料は、朝鮮関係のものが比較的知られていますが、それ以外にも日本の古典籍や戦前期の近代文学関係の資料を含め、あらゆる分野の資料約2万点あまりが収蔵されています。

今回はそれらの一部を紹介する試みとして、当館のテーマを「甦る桜圃寺内文庫－収蔵資料に光をあてる」としました。

ML連携展には本年度が初めての参加で、準備不足もありましたが、スタンプラリーも実施されたため、県内各地からの観覧者がありました。

当館では次年度も参加し、共通テーマ「発見」に沿って引き続き収蔵資料の紹介をする予定です。



■ 360Search（統合検索ツール）のご紹介

～複数のデータベースを一度に検索！～

皆さん、論文を探すときにどのデータベースを使って検索すればいいのか迷うことはありませんか？数多くのデータベースの中から最適なものを見つけるのは一苦労。まずは「360Search」で検索してみましょう。

「360Search」は、複数の情報資源（文献データベース、電子ジャーナル、本学蔵書検索(OPAC)など)を一括で検索する統合検索システムです。現在、図書館で契約しているデータベースや電子ジャーナルも含まれているので、論文をより探しやすいです。

検索窓は本学図書館ホームページ上にありますので、まずはそこから検索を開始しましょう。

検索語を入力後、検索結果が画面に表示されますが、注意しなければならないのは画面左側にあらわれる「クラスタリング機能」です。

トピック、日付、ジャーナル、著者のタブがあり、それぞれの検索結果が表示できます。

また、「ソース順による結果」の中の青字のデータベースをクリックして、検索結果を絞り込むことができます。

「360Search」は、複数の情報資源を一括検索するため、膨大な検索結果となる場合があります。その場合はこれらの機能を使うことで、より確実に文献にたどりつくことができます。

その他、「360Search」にはいろいろな機能がありますが、詳しくは図書館職員にお尋ねください。

⇒ 「360Search」をクリックすると、説明書もあります。

「360Search」を使う時には、何よりみなさんが、どのような分野のどのような情報入手したいのかを良く確認しておくことが大切です。それによって、適切なキーワードによる検索をすることが出来ます。トライしてみてください。

■ 学生の図書館利用に関する満足度評価と要望について

～学生の図書館利用に関するアンケート結果から～

大学図書館は教育・研究支援と情報の基盤としての機能に基づき、知的好奇心を刺激し知的探索手段を備えた知的冒険のワンダーランドとして、学生と教職員の学習・研究能力開発を鼓舞する場となることが期待されている。本学附属図書館も学生の知識や学習意欲を刺激し、充実した学習・研究を追求できる知的な空間と必要な学習支援を提供できるように、様々な工夫と努力を重ねている。しかし、大学図書館の理想像を目指し、変革を進めていくためには、先ず現状の客観的状況や問題・課題を知ることが必須である。とりわけ、本学図書館を利用している学生の図書館利用満足度や要望を理解することが必要である。そこで、平成24年7月に実施した「学生の図書館利用に関するアンケート調査」結果から、学生の図書館利用に関する満足度評価と要望について報告する。

1. 学生の図書館利用に関するアンケート調査について

附属図書館の利用についての意識や要望などを調査し、今後の図書館サービス改善のための基礎資料とするために、全学部学生・院生・別科専攻生を調査対象として「学生の図書館利用に関するアンケート調査」を実施した。調査期日は平成24年7月で有効回収率は65.5%（929人）であった。調査内容は下記の項目で、この内、(1)図書館利用頻度と利用目的、(2)図書館・室の現状満足度及び(7)図書館・室への要望について、以下に概要を述べる。

〔調査項目〕

- (1)図書館利用頻度と利用・非利用理由などについて
- (2)図書館・室の現状満足度などについて
- (3)図書館・室で利用するサービスなどについて
- (4)図書館・室に充実を望む資料・図書などについて
- (5)図書館HPなどについて
- (6)図書館・室のサービスの認知度などについて
- (7)図書館・室への要望について

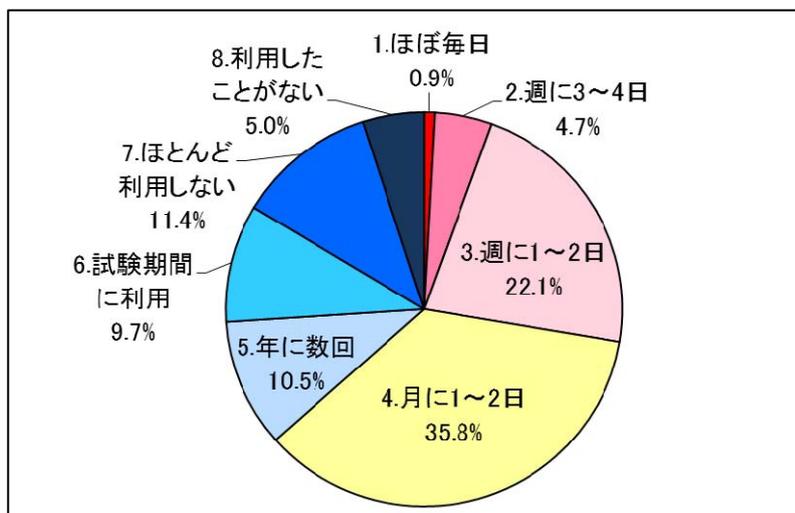
2. 図書館利用頻度、利用目的、利用満足度及び要望等のアンケート調査結果概要について

1) 図書館利用頻度

●あなたはどれくらい本学図書館本館・看護キャンパス図書室を利用(来館)しますか。(○は一つ)

- 1.ほぼ毎日 2.週に3～4日 3.週に1～2日 4.月に1～2日 5.年に数回
6.試験期間に利用する 7.ほとんど利用しない 8.利用したことがない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.ほぼ毎日	8	0.9	0.9	0.9
	2.週に3～4日	43	4.6	4.7	5.5
	3.週に1～2日	204	21.9	22.1	27.7
	4.月に1～2日	330	35.4	35.8	63.4
	5.年に数回	97	10.4	10.5	74.0
	6.試験期間に利用	89	9.6	9.7	83.6
	7.ほとんど利用しない	105	11.3	11.4	95.0
	8.利用したことがない	46	4.9	5.0	100.0
	合計	922	99.0	100.0	
欠損値		9	1.0		
合計		931	100.0		



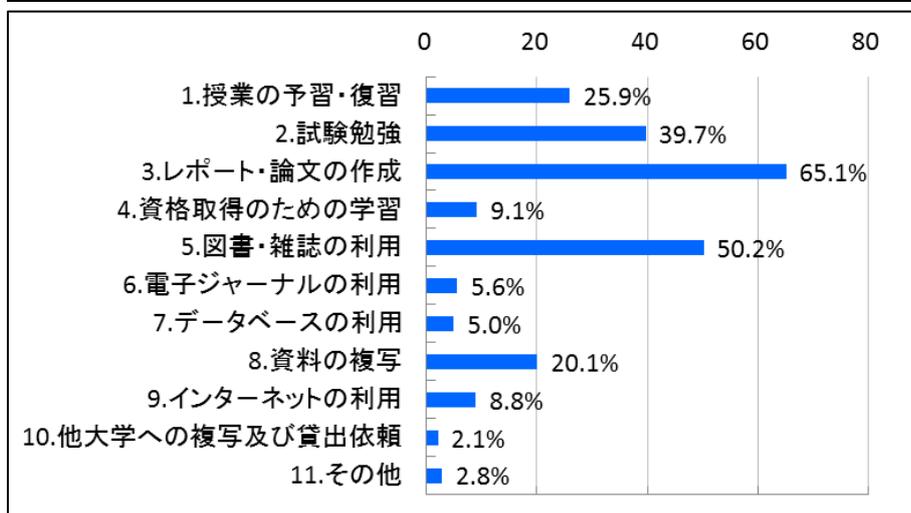
本学図書館・室を利用している学生は83.6%で、その内、週1回以上利用している学生は27.7%である。

「7.ほとんど利用しない」+「利用したことがない」学生は16.4%である。
したがって、学生の図書館・室の利用率は比較的高い。

2) 図書館利用の目的

● 図書館・室を利用する主な目的は何でしょうか。(複数回答可)
 1. 授業の予習・復習 2. 試験勉強 3. レポート・論文の作成 4. 資格取得のための学習
 5. 図書・雑誌の利用 6. 電子ジャーナルの利用 7. データベースの利用 8. 資料の複写
 9. インターネットの利用 10. 他大学への複写及び貸出依頼 11. その他()

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1. ほぼ毎日	8	0.9	0.9	0.9
	2. 週に3~4日	43	4.6	4.7	5.5
	3. 週に1~2日	204	21.9	22.1	27.7
	4. 月に1~2日	330	35.4	35.8	63.4
	5. 年に数回	97	10.4	10.5	74.0
	6. 試験期間に利用	89	9.6	9.7	83.6
	7. ほとんど利用しない	105	11.3	11.4	95.0
	8. 利用したことがない	46	4.9	5.0	100.0
	合計	922	99.0	100.0	
欠損値		9	1.0		
合計		931	100.0		



図書館・室を利用する主な目的は第3位までが「レポート・論文の作成」(65.1%)、「図書・雑誌の利用」(50.2%)、「試験勉強」(39.7%)であり、次に「授業の予習・復習」(25.9%)と「資料の複写」(20.1%)が続いている。

したがって、講義に対する予習・復習や課題対応、あるいは卒論・ゼミ論文作成を主な目的として図書館・室を利用している。

3) 図書館利用の満足度

【図書館・室を利用したことのある人のみ】

●あなたは次の1)～25)について、図書館・室の現状に満足していますか。(各項目に、○は一つ)

	1.不満	2.やや不満	3.どちらとも いえない	4.かなり満足	5.満足
1.図書館・室が便利な場所にある	1.3	8.9	36.5	35.1	18.2
2.図書館・室内が清潔である	1.5	6.9	21.9	46.1	23.6
3.図書館・室内は、快適で居心地がよい	2.4	14.4	25.3	39.7	18.1
4.机・椅子の数が十分で使いやすい	5.0	18.8	35.8	30.3	10.1
5.グループで利用できる場所が整っている	8.0	21.9	42.7	20.1	7.3
6.複写機が適切に使いやすく配置されている	2.9	12.7	54.3	21.5	8.6
7.必要な機能を備えたパソコンが十分にある	4.0	19.8	43.0	24.3	9.0
8.学習、研究に集中できる	1.9	10.6	26.6	43.7	17.3
9.図書館・室内は安全である	0.7	3.4	21.2	48.2	26.5
10.障害者の利用に配慮されている	4.5	16.3	59.5	14.1	5.6
11.図書が十分に揃っている	14.4	29.4	32.7	19.6	3.9
12.雑誌、電子ジャーナルが十分に揃っている	6.6	21.2	50.9	16.9	4.4
13.辞書・事典類が十分に揃っている	2.9	11.8	53.7	25.4	6.2
14.データベースが充実している	3.1	12.9	58.2	20.4	5.4
15.図書・複写物を学内・外を問わず迅速に 取寄せることができる	4.7	13.9	61.5	15.4	4.6
16.資料がわかりやすく配置されている	2.9	13.9	37.7	37.0	8.5
17.館内・室内の案内や掲示がわかりやすい	2.9	13.7	40.4	35.3	7.7
18.図書館・室の配布物が容易に入手できる	2.0	10.9	50.2	28.5	8.5
19.図書館・室の配布物の内容がわかりやすい	1.9	9.2	55.6	26.4	6.9
20.図書館・室のホームページが利用しやすい	2.0	10.5	47.8	30.3	9.4
21.図書館・室のホームページが充実している	2.7	11.0	53.7	24.8	7.8
22.図書館・室がおこなう講習会が充実している	4.3	14.3	68.8	8.9	3.7
23.窓口・館内での職員の対応が良い	3.0	10.9	40.3	34.6	11.2
24.クレームへの対応が迅速・適切である	1.9	7.7	69.6	15.7	5.2
25.ロッカーが整備され、使いやすい	7.0	22.0	38.3	24.5	8.2

図書館・室の現状満足度について、「1.不満」と「2.やや不満」を合わせて「不満」、「4.かなり満足」と「5.満足」を合わせ「満足」とし、不満と満足への回答率を比較した。

その結果、満足の回答率が不満の回答率より高かった質問項目は25項目中20項目(80%)であった。特に、「1.図書館・室が便利な場所にある」、「2.図書館・室内が清潔である」、「3.図書館・室内は、快適で居心地がよい」、「8.学習、研究に集中できる」、「9.図書館・室内は安全である」は満足が50%をこえる評価であった。

また、「23.窓口・館内での職員の対応が良い」、「16.資料がわかりやすく配置されている」や「17.館内・室内の案内や掲示がわかりやすい」などが比較的高い評価であった。

一方、不満の回答率が満足の回答率より高かった質問項目は25項目中5項目(20%)であった。特に、「5.グループで利用できる場所が整っている」、「11.図書が十分に揃っている」と「12.雑誌、電子ジャーナルが十分に揃っている」は不満が20%を越えており、改善が必要である。また、「10.障害者の利用に配慮されている」も不満が20%弱にのぼり、バリアフリー化が必要である。

4) 図書館利用に関する要望・自由意見

図書館利用に関して出された要望や自由意見の代表的な内容を20ほど例示する。

	内容
1	18時すぎでも通常通り利用できるように
2	5:00までだと短すぎる気がする。せめて6:00まで開けてほしい。特別利用の申し込みを看護のほうでもできるようにしてほしい。
3	できれば常時21時まで開館ができたらい(特別利用に限らず)
4	開館時間(夜間利用)をもう少し長くしてほしい。
5	開館日:土日も自由に利用できるようにしてほしい。閉館時間:特別利用なしで利用できるようにしてほしい
6	特別利用がややこしい。せめて20時くらいまで通常通りやってほしい。
7	2階の雑誌室・自習室のエアコンをつけてほしいという要望に迅速に対応して下さってとても嬉しかったです。ありがとうございました。
8	2館の階段をのぼった左側の雑誌が置いてある部屋の冷房があまりきいていないので、そこを改善してほしい
9	テスト期間だけでも特別利用時間もクーラーを使えるようにしてほしい
10	もう少し棚を低くして広々とした図書館にしてほしい。室温を適温にしてほしい(もう少し早めにクーラーをつけてほしい)
11	もっと資料を増やしてほしいです。もっと充実した図書館にしてほしいです。
12	ロッカー一部分が狭いので、難しいとは思いますが改善されると利用しやすくなります。
13	看護・助産の専門書が少ないので、これからも少し充実させていただけると助かります。本館に福祉関連の本が多くなるのは仕方ないことと思うのですが、看護でも社会福祉や栄養等大切になっているので、こちらもう少し増やしていただけると嬉しいです。
14	看護棟の図書館にも養教関連、教育関連の書物を置いてほしい。
15	高校に比べて本の数が少ないと感じています。資料がたくさんあるのは、とても使いやすく良いと思いますが個人的には小説をもっと増やしてほしいです
16	国立大で読める文献がここでは読めないので学びが制限されます。
17	図書館の自習室を自由に使えるようにしてほしい
18	通路が少しくらい。本館
19	特別利用カード→キーを借りるの流れが負担になる。休日など利用したいときに利用できないため、利用率の低下につながると思う。学生証と連携するなど難しいと思うが、のちのち移行してほしい。
20	勉学する者にとって大学図書館は必要です。一般の図書館とは違い県立大学独自の図書館でありつづけることを大変期待しております。利用者のマナーを守りつつ常に利用者の視点でよろしく願います。

図書館利用に関わって出された要望や自由意見は大きく整理して、1) 図書館の開館日・開館時間、2) クーラー等による室内至適温度の設定、3) 学習・研究に必要な資料や図書の整備・充実、他であった。

すなわち、閉館時間を21時から22時にし、夜間利用(特別利用)の手続きを簡易化あるいは無くしてほしい。

図書館内、特に自習室の室温を適温にするようにエアコンを柔軟に使用させて欲しい。

各学部・学科等の学習・研究に必要な資料や書籍類を整備・充実させて欲しい等の要望が多く出された。

また、ロッカーの整備やパソコンの充実などの要望も少なからず出されていた。

3. 図書館利用に係わる要望に対する図書館の対応

図書館利用に係わる主要な要望についての図書館の対応を報告する。

1) 開館日・開館時間について

開館時間は休業期間中を除き、平日は図書館本館が9時から19時、看護キャンパス図書室が9時から17時である。その後の特別利用は19時（図書室17時）から22時までである。また、土日は休業期間中を除き、特別利用として9時から22時までを開館している。この特別利用時間を含めた開館時間は中四国の公立大学図書館で最も遅い時間まで開館している大学図書館となっている。特別時間における現状の利用者数や安全面等から考えて、当面は現状維持（22時まで）の開館時間が望ましいと判断している。ただ、特別利用において、利用手続きの簡素化あるいは利用登録せずに使いたいとの強い要望に応じて、平成25年度から土曜日・日曜日を除き「学生ライブラリアン」を配置して、午後5時から午後10時までの特別利用時間の利便性向上とセキュリティーの確保を図ることとした。なお、今年度（平成25年度）は試験運用期間として、利用者の多い7、8月と11月から翌年1月まで、学生ライブラリアンを配置した。

2) 室内を至適温度に設定するためのクーラー等の使用について

数年前から、利用者からの要望もあり、看護棟図書室では、補講と試験期間中の特別利用時に午後10時まで空調機を運転している。予算の制約もあり、通常日の特別利用時における空調機の常時運転は難しい。

本館では、特別利用を開始した時に、1階の扉を閉めることが出来る閲覧室に空調機を設置、利用者自身でスイッチの入・切が出来るようにしている。

3) 学習・研究に必要な資料や書籍等の整備・充実について

各学部・学科等の専門性や固有性を踏まえて、学生の学習・研究に必要な書籍や資料等を整備・充実できるように、平成24年度から学部長・研究科長等より構成される「図書館運営に関する連絡協議会」において学習・研究に必要な資料や書籍等の選定をお願いしている。

また、学生からの購入図書の要望については、希望図書を記載したリクエストカードをリクエストボックスに投函してもらい、その要望に応じている。

昨年からは試みとして、各学部等からの参加者が本学のバスを利用して、福岡の大型書店に向いて選書するツアーを実施している。選書する図書は学部学科等関連の図書と自身の好みを加味した図書とした。好評で、選書された図書は学生選書コーナーを設置して配架している。

ただし、図書購入予算の制約があるので、満足度の高い書籍整備・充実に向けて創意工夫が必要である。



■ 本学教員出版物の紹介 —平成23年6月以降寄贈のもの—

ご寄贈ありがとうございました。

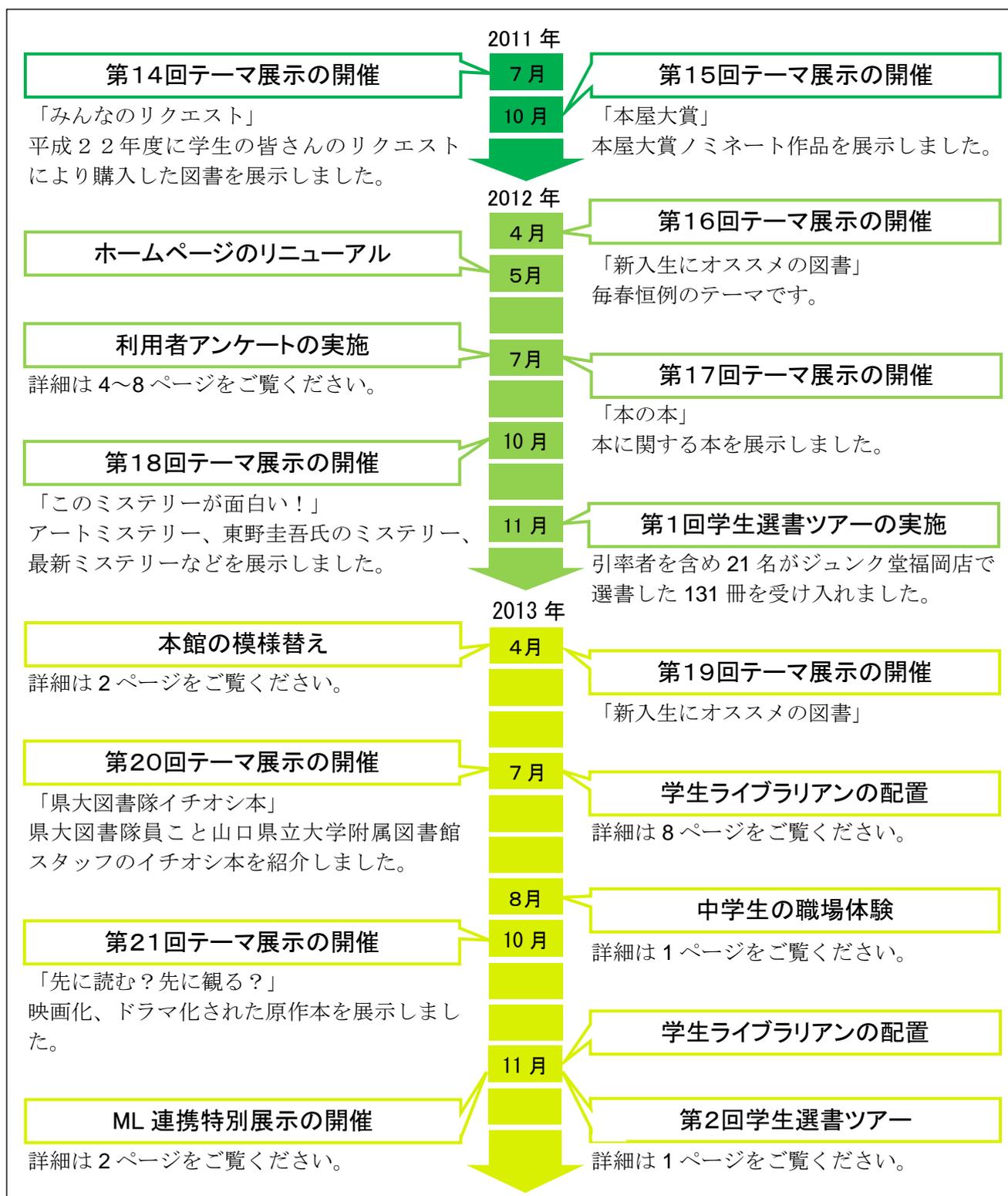
著書ご刊行の折には是非附属図書館にお持ちください。

また、国立国会図書館の納本制度にもご協力ください。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| ◆ 長寿社会を生きぬくために | 江里健輔著 |
| ◆ 星座としての国際文化学 | 山口県立大学国際文化学部編 |
| ◆ 西表島の農耕文化 | 安溪遊地編著 |
| ◆ 日本民俗文化誌 | 安溪遊地編 |
| ◆ 李頎詩選注稿 | 川口喜治著 |
| ◆ 葬式仏教正当論 | 鈴木隆泰著 |
| ◆ ポーランド語作文教本 | 渡邊克義著 |
| ◆ 頻出順ドイツ語1200単語 | 渡邊克義編著 |
| ◆ はじめての英語落語 | 渡邊克義共著 |
| | (他2点) |
| ◆ 寺内正毅ゆかりの図書館桜圃寺内文庫の研究 | 伊藤幸司編 |
| ◆ 江戸大坂の出版流通と読本・人情本 | 木越俊介著 |
| ◆ 鳥獣虫魚の文学史② | 木越俊介執筆 |
| ◆ ぶちええグローバルの日本語の教科書っちゃ | 古別府ひづる研究室 |
| ◆ はじめての社会保障 | 田中耕太郎著 |
| ◆ 日独社会保険政策の回顧と展望 | 田中耕太郎編著 |
| ◆ 未来につながるボランティア | 藤田久美編著 |
| ◆ 伝え合うおいしいやまぐち | 島田和子, 園田純子, 人見英里解説 |
| ◆ 深化したTIMEによる褥瘡ケーススタディ | 田中マキ子編著 |
| ◆ ポジショニングガイド | 田中マキ子編 |
| ◆ 必ず見つかる！ポジショニングのコツ | 田中マキ子編 |
| | (他4点) |
| ◆ やまぐち発！みんなで創る老後の暮らし | 山口県立大学地域包括ケア研究会編 |



■ YPULダイアリー



◆ 編集後記
館報第19号をお届けします。久しぶりの発行ですので、この間のイベントダイアリーを載せています。(M)

■ 編集・発行/山口県立大学附属図書館
〒753-8502 山口市桜島3-2-1
TEL. (083) 928-0522 FAX. (083) 928-0279
E-mail: lib@sakura3.yamaguchi-pu.ac.jp
<http://www.ypu.jp/library/ypulib/index.html>

【付録】 附属図書館の利用について、ご確認ください。

附属図書館利用案内

当大学の附属図書館には、図書館本館と看護キャンパスにある図書室とがあります。本館はあらゆる資料を所蔵しており、図書室は主として看護関係の資料を所蔵しています。学生の皆さんは目的に応じてどちらも利用することができます。

図書館内には、一般図書、参考図書、学術雑誌等がそれぞれの書架にあり、自由に閲覧できます。また、書庫にある資料も「書庫内資料利用票」に必要事項を記入してカウンターへ提出すれば、同様に閲覧や貸出ができます。

蔵書検索用のOPAC (Online Public Access Catalogue) で所蔵資料を確認して下さい。また、新刊図書の案内などもOPACからできるようになっています。

図書館のホームページでも利用の案内をしていますので、ご覧下さい。URLは

<http://www.ypu.jp/library/ypulib/index.html> です。

なお、わからないことは、職員に遠慮なくお尋ね下さい。

開館時間

平日 9時～17時

(休業期を除き、本館は19時まで利用できます。)

特別利用

カード式入退館システムによって、閉館後22時まで、資料の貸出、閲覧、複写、情報検索ができます。予め利用登録が必要です。手続き等の詳細は、職員にお尋ね下さい。

平日 17時～22時

土曜日・日曜日 9時～22時 (休業期を除く)



休館日

日曜日

土曜日

国民の祝日に関する法律に規定する休日

年末年始 (12月28日～1月4日)

館内整理日 (毎月末)

資料・情報の探し方

システム化によって、所蔵している大半の資料はOPACで探すことができます。保管場所は、開架、書庫、看護棟図書室、研究室等に分かれています。

また、OPACには、操作方法のオンラインマニュアルがありますので、必ずよく読んで検索を行って下さい。わからないときには、遠慮なくカウンターの職員にお尋ね下さい。

学内LANによって図書館以外のパソコン (研究室、情報処理室) から所蔵の検索ができます。

本館と看護キャンパスの図書室には、インターネットに接続された情報検索用パソコンを、合わせて15台置

いていますので、新聞記事の検索、学術情報サービス、論文検索、電子ジャーナルの検索などにご利用下さい。
分からないことがありましたら、職員にお尋ね下さい。

視聴覚資料案内

ビデオテープは看護棟図書室の視聴覚コーナーでのみ利用できます。内容は看護学関係のものです。利用の際には、看護キャンパスの図書室において下さい。

貸 出

資料の館外利用を希望する際には「館外貸出」の手続きをします。学生証と貸出希望の図書を、一緒にカウンターへ提出して下さい。（学生証は貸出カードと共用になっています。）返却期日は、図書に貼付してある「返却期日票」に各自で押印して下さい。図書は、1人5冊まで貸出できます。貸出期間は2週間以内です。大学院生は10冊までで、貸出期間は1ヶ月以内です。

なお、図書は1回に限り、返却期日を1週間延長することが出来ます。ただし、予約者がいる場合には延長出来ません。

雑誌は1人1冊までです。貸出期間は、バックナンバーが3日間以内の貸出です。大学院生は2冊までで、貸出期間は1週間以内です。最新刊は午後4時以降から翌日10時までの特別貸出です。

返 却

返却期日票の期日をよく確認して下さい。返却が遅れると、遅れた日数貸出停止となりますので注意して下さい。また、開館時間外や休館日に返却する場合には、ブックポスト（図書館の玄関口に設置）に投函し、返却して下さい。

レファレンスサービス

- ・所蔵調査-----学生のみなさんの、レポートや卒業論文に必要な資料の所蔵調査を行います。
当館の所蔵だけでなく、他機関の所蔵調査も行います。
- ・学内文献複写-----当館で所蔵する文献を、各自で複写することができます。その際には、「文献複写申込書」を記入し、複写後カウンターへ提出して下さい。複写機はコイン式です。
- ・学外文献複写依頼---他大学、機関の所蔵している資料を当館から複写の依頼をし、コピーを取り寄せることができます。
到着までに1週間から1ヶ月位かかりますので、余裕を見て申し込んで下さい。経費は利用者負担です。
- ・相互貸借-----他機関の所蔵している資料を、図書館を通して借用し、利用することができます。
借りた資料は館内閲覧のみで、経費は利用者負担です。
- ・相互利用-----他大学の図書館や研究機関等の所蔵する資料を直接出向いて利用することです。
事前に、紹介状が必要になりますので、カウンターへ申し出て下さい。

お 願 い

- ・図書館内には、かばん類の持ち込みはできません。ロッカーに入れて入館して下さい。
筆記用具、貴重品等は持ち込むことができます。
- ・図書館内では飲食はできません。
- ・図書館内では、他の利用者に迷惑をかけないように静かに利用しましょう。携帯電話は、館外で使用して下さい。
- ・閲覧利用した図書は次に利用する人のために、きちんと請求記号に従って、所定の位置に戻して下さい。

